

授業科目 日常生活活動学実習

【担当教員名】 小林量作 粟生田博子	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】  
前期で学習した日常生活活動（ADL）の知識を基に、動作方法、介助方法、機器・用具の使い方を体験し習得する。また、実際の事例、模擬事例を通して、ADL問題点の抽出、プログラム立案を行い、学生間で討論することによって、知識の統合を図る。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 起居動作の指導方法を習得する。
2. 歩行補助具の使い方を習得する。
3. 車いす操作法、介助法を習得する。
4. 姿勢保持・移乗動作介助法を習得する。
5. 事例を通してADLプログラムを立案する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO		
		番号	学習方法	学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		実習・講義	小林 粟生田
2	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 粟生田
3	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 粟生田
4	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 粟生田
5	歩行補助具・車椅子の使い方	2.3	実習・講義	小林 粟生田
6	片麻痺のADL	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
7	大腿骨頭部骨折のADL	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
8	起居動作の指導	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
9	起居動作の指導	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
10	姿勢・ベッドポジショニング	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
11	斜面台の使用法	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
12	神経難病のADL	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
13	神経難病のADL	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
14	演習問題	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
15	演習問題	1・4・5	実習・講義	小林 粟生田
16	実技試験			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正編	医学書院	2005
参考書	日常生活活動（動作）—評価と訓練の実際—	土田弘吉・他編	医歯薬出版	1992年
	日常生活活動（ADL）	橋本 隆・他編	神陵文庫	1998年
その他の資料				

【評価方法】 出席、レポート、実技試験、期末試験、その他	【履修上の留意点】 実技ができる服装になっていること。
---------------------------------	--------------------------------